

Wi-Fi HaLow製品 (IEEE802.11ah)



長距離通信 × 動画伝送

IoT向けの新たな通信規格

Wi-Fi HaLowとは

- 従来のWi-Fiに比べて長距離伝送(最長1km)が可能
- 他の920MHz帯を使用したLPWAに比べ、高速な通信(数Mbps程度のスループット)が可能
- 920MHz帯を使用するため、2.4GHz帯や5GHz帯との干渉を避けることができる
- IP通信が可能のため、既存のネットワークからの置き換えが容易
- 基地局などを利用しないため、通信料がかからない



広大な倉庫や工場、屋外など様々なシーンでの活用が期待される新しい種類のWi-Fi規格です。

Wi-Fi HaLow Arduino シールド

型番AMWA-01

設定や開発の手間なく、Arduinoで簡単にWi-Fi HaLowでデータ送受信が可能

Arduino Uno R4からUARTを使用してATコマンドを送信する事により、アクセスポイントへの接続、データの送受信が可能です。

※ステーション(STA)モードとアクセスポイント(AP)モードに対応。

- 電源入力 Arduino Uno R4又は外部電源から供給(R3の場合は外部電源推奨)
- 外部電源 +7V ~ +12V
- 基板サイズ(68.6 x 53.4mm) ●アンテナ端子(U,FLコネクタ)



Wi-Fi HaLow 標準ボード

型番AMWS-01

標準ボードを使用することにより、費用をかけずにWi-Fi HaLow導入を実現

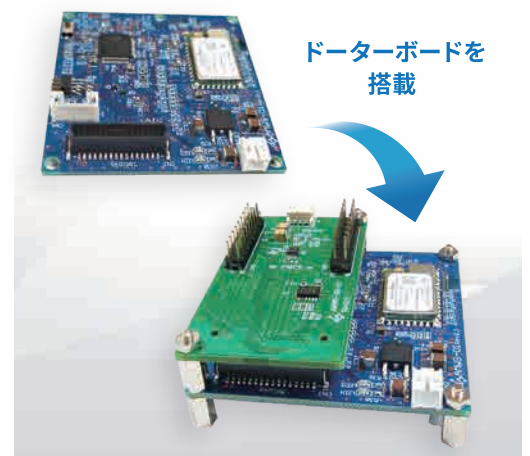
●本製品にセンサやカメラなどを接続することで、Wi-Fi HaLowを使用した監視システムとして使用できます。

※ファームウェアは用途に合わせて開発して頂くか(弊社で対応も可能)、ATコマンド対応ファームウェア(UARTにより制御)をご提供するかのいずれかとなります。
※ステーション(STA)モードとアクセスポイント(AP)モードに対応。

●ドーターボードが搭載可能になっており、必要に応じてドーターボードのみを開発する事で、開発コストを抑えることができます。

カスタマイズにも対応いたします。お気軽にご相談ください。

- 電源入力 4.5 ~ 12V ●インターフェース UART, SPI, I2C, GPIO ●基板サイズ(60x60mm)



※仕様・外観は予告なしに変更する場合があります。

APモードについて

アクセスポイントモード(AP)では、AMWA-01/AMWS-01がWi-Fi HaLowの接続先として動作します

※APモードは既存LANや他のWi-Fiへのルータ/ブリッジ機能ではありません。受信したデータの処理、表示、保存、他ネットワークへの転送などは、使用する構成に応じて、本デバイスを制御するホストデバイス、ファームウェア、またはアプリケーション側で実装します。

※APモードで接続できるステーションは最大2台です。